

上海で体験した COVID-19 対策と現地から見た中医学の活用

上海 TOWA クリニック中医科 主治医師・医学博士
大阪大学大学院医学系研究科先進融合医学共同研究講座 招聘教員
藤田 康介

2019 年年末に中国武漢から全世界に拡大した COVID-19。筆者は発生当初から現在まで上海に滞在し、日本に戻ることなく、刻々と変化する現地での対応を体験してきました。結果的に、中国では新規市中感染者は抑え込まれており、我々の日常生活もほぼ正常に回復しました。交通機関も普通に利用できています。感染拡大を防ぐために行われた上海での地道な取り組みを紹介します。

また、今回の COVID-19 では SARS の時と違って、かなり早期から中医学の導入が政府主導で行われ、中国のメディアにも非常に多く中医学が登場しました。1/22 に発表された中国当局の第 3 版ガイドラインから、中医学治療方案は掲載され、2020 年 8 月に発表された第 8 版にまで掲載されています（2020 年 11 月現在）。各地でも様々な中医学による治療方法が考案されました。患者への対応も予防・初期段階から重症者まで幅広く中医学が活用され、さらに回復患者へのリハビリ対応にも注目を集め、様々な処方も登場しています。こうした一連の流れを確認し、改めて中国における COVID-19 治療での中医学の存在意義を考えていきたいと思えます。